

※ 今週のアウトルック(8/10~8/13)

先週は水曜日がドル売りのピークとなり、その後反転し、金曜日の米国雇用統計の良好な結果を得て、ドルがさらに上昇しました。

今週は米国雇用統計の好結果を元にしたドル買いがどの程度進むかにまずは焦点が集まりそうですが、月曜日の夕方時点では、すでにドル買いは終了したかのような様子です。

先週のドル円は、APD雇用統計が期待した通りとはならず、108円台後半まで一度下落しました。その後持ち直し、金曜日の米国雇用統計の良好な結果を受けて110円台中盤まで到達しました。

今週は、雇用統計の好結果から、どのあたりまでドル買いが広がるかがまずは注目されますが、月曜日の欧州市場が始まったあたりでは、すでに頭打ちとなり少し下落している様子です。今週このまま再びドル円が下落に向かうかどうかについては、判断が難しいところですが、110円中盤付近のレジスタンスは意外と厚いように思います。

ドル円の予想レンジは109円から111円です。

先週のユーロ円は129円台を中心とした小さな動きとなりました。

今週は再び反発できるかどうか注目されますが、ユーロドルがこのところのレジスタンスである1.17付近を割り込む可能性が少し強くなってきており、割り込んでしまった場合にはユーロ円も下落トレンド入りする可能性が強まりそうです。

ユーロ円の予想レンジは127.5円から130.5円です。

ポンド円は、154円付近のレジスタンスをブレイクできずに小康状態が続いています。今週、早い段階でブレイクできなかった場合には、一度調整する可能性が高まりそうです。

ポンド円の予想レンジは150円から155円です。

今週は、米国雇用統計の好結果を受けてリスクオンムードが広がるのが期待されますが、コロナウイルスの拡大などもあり、なかなか難しい状況なのかもしれません。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。